



すだ 須田こうへい

県政レポート

立憲民主党・民権クラブ

コロナウイルス感染が心配されています。こまめな手洗いやうがい、消毒など、出来るだけ感染予防をお心がけ下さいませ。皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

地域を一軒一軒足で回り、さまざまな課題をいただいております。添付のお書にて、皆様のご意見を頂戴できましたら幸いです。特にコロナ対策など命を守る政策、治安悪化や風紀の乱れが懸念されるカジノ誘致への反対、中学校給食や児童虐待防止などの子育て政策、徹底した情報公開など行政改革に取り組んでまいります。

6億円超のカジノ予算を“命を守る”コロナ対策へ!!

日本中で新型コロナウイルス感染症が心配されています。マスクなど衛生用品、生活必需品の供給不足への心配の声も多く、医療現場も多大な負担を強いられています。問題が長期化すればするほど、景気への影響も心配です。そんな中、横浜市では昨年はカジノ関連に補正予算2億6000万円が、今年は4億円のカジノ推進予算がつきまわっています。**新型コロナ感染症のニュースの除で、横浜が知らぬ間にカジノに感染してしまっている**のです。目下、**カジノ予算を凍結し、6億円超の税金は即刻コロナ対策に回すべき**でしょう。



神奈川県議会議員(横浜市中区) 須田こうへい
〒220-8501 横浜市旭区鶴ヶ峰2-9-11
ビッグフィールド2F-2
須田こうへい事務所 行
FAX:045-444-9445

須田こうへい事務所
旭区鶴ヶ峰2-9-11 2F-2
☎045-444-9444
☎045-444-9445
sudamame.net@gmail.com
https://www.sudakehei.net/

「市民有志の方にはぜひ須田こうへい事務所にお声をかけたい!」

県政報告

カジノのない健全な横浜の未来を!

神奈川県議会議員 須田こうへい

IR説明会に出席した(元々市も推している)カジノが原因の8/9で参加。「巨大なM」な対策があり、双方の別を告め、金融界がカジノICB(ホテル、劇場、経済効果、特産品のコスト削減)と比べてギャンブル(賭博)は「健全なカジノ」が「責任では全く供給者になるIRの設計をそもそも「さすは」という須田の責、症へと引き込めため、自らも側面、地元からは「M」(健全なカジノ)が「責任では全く供給者になる進正規模のM1C」あつてIRは成り立つ。責任」が問われます。Eに「デイズ」に渡り給ととの差弁で急務から急り、民間なら自治体の対策のF1レースの勝敗も加え、IRは面積3%、検射も一切を省かず、林

市長からは「スピードと市民負担の面でIRはかない」とカジノありきの答弁のみ。市はカジノ事業者が「ビタリット」だけで進捗してIR誘致決定し、市費も、依存性対策費、マナスの経済効果など「デメリットは一切調査・検証していません。例えば、短期的中長期での後の影響は計り知れません。

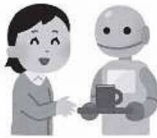
▲旭公会堂で行われたIR説明会の様子。291人の住民が参加されましたが、全ての質問が「反対意見」で驚きました

〒220-8501 横浜市旭区鶴ヶ峰2-9-11
ビッグフィールド2F-2
須田こうへい事務所 行
FAX:045-444-9445

2418790

皆様のお声をお聞かせ下さい。(お城の石垣、景気への心配など)

インターンレポート: AI導入後の未来について



専修大学1年生 稲波さん

昨今、AI(人工知能)は目まぐるしい発展を遂げています。例えば、スマートフォンの音声認識、そしておすすめとして出てくるサイトや動画もすべてAIを活用したものです。「昨日は関連動画をつい何時間も見てしまった」という経験も、実はAIの働きに関係していたということになります。

ここで私は一つの例として、介護業界へのAIの登場を取り上げたいと思います。現在、利用者さんの健康状態を察知するAIや、介護士が装着するロボットスーツの開発が進んでいるようです。現役の介護福祉士である母は、身体に痣を作って帰宅してくることもあるので、ここでAIを導入すれば介護士の負担を減らせるとともに、ひいては介護士の補填にもなることは明らかでしょう。

しかし、AIが本格的に導入された時、確実に平穏な未来が待っていると言いきれるのでしょうか。現在有料老人ホームの入居費用は首都圏で大半が500万円を超えており、利用者のごく一部の富裕層しかありません。上記した類のAIが導入されれば、その利用者はより限定的になるのではないでしょうか。つまり、AIを導入することによって人々の生活水準に差が生まれてしまう可能性があるのです。よってこの格差を是正する手段が見つからない以上、現時点では私はAIの導入に心から賛成することが出来ません。また、AIの普及により人件費が削減され、利用額は減るのではという考えもありますが、普及の前提としてAIのメンテナンス代や初期運用にかかる人材も重要な課題です。

AIは今や私たちにとって身近な存在であることは否定できません。しかし未だ倫理観や法整備にも問題点はあるのです。これからも私たちは、彼らの社会参画について真剣に考えなくてはならないでしょう。

出典:

- ・NHK出版新書 丸山俊一+NHK取材班[編著]「AI以後」
- ・<https://robotstart.info/2017/09/07/kaigo-robot-res.html> ロボスタ

コラム：神奈川の明日に種をまこう！

青年局企画部の役員に就任いたしました。最初の事業は、「逆転！？おしゃべり教室」。高校生が先生となり、元総理大臣を含め議員らが生徒となって、若者からの授業を受けるという企画です。「若者の投票率向上(デンマークの成功事例紹介)」など、議員にとっても大いに刺激になる内容でした。

さらに、須田こうへい事務所では学生インターン受け入れはもとより、事務所スタッフとしてもティーンズ3名を抜擢しました。驚いたのはテレビ・新聞よりもYouTubeやTwitterのほうがメディアとして身近に感じているという事実。私自身も街頭活動に力をいれてきましたが、これからは動画配信なども考えていかなければなりません。

令和の時代を担う若者が政治に関心を持ち、参加できる環境作りに今後とも全力を尽くしてまいります！

お名前	フリガナ	
	漢字/仮名	
ご住所	〒	
E-mail	個人用	
	会社用	
TEL	049-	049-
FAX	049-	
Mobile		
ご支援内容	<input type="checkbox"/> 無料レポート定期発行の申込み <input type="checkbox"/> カジノ反対署名運動の申込者登録 <input type="checkbox"/> 市ラウンダー・立憲サポーター登録	
署名①	署名②	署名③